

提 案 概 要

(年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム 指定管理者)

団体名：北九州シニアネットワークアカデミー共同事業体

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>施設の管理運営の理念として、「いきいきアクティブシニア 生涯活躍のひとづくり・まちづくり」を掲げます。この理念に基づき、「超高齢社会に対応した学びの提供」、「人生90年時代に対応した健康づくり」、「就労や起業、ボランティア活動の支援」、「関係団体等との連携強化、社会参加の促進」、「大学校及び穴生ドームの機能拡大」、「施設の効率的、適正な運営管理」の6つの基本方針を掲げ、施設の管理運営を行ないます。</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財産基盤</p> <p>北九州市社協は、常勤職員192人、非常勤職員334人、合わせて526人の職員を擁し、延べ100人を超える職員が社会福祉士や社会福祉主事等の福祉の専門資格を有しています。里山を考える会は、常勤23人、非常勤8人、合わせて31人の職員を擁し、延べ23人が多岐にわたるファシリテーション力、環境学習・体験の高度なスキルを有しています。</p> <p>北九州市社協の平成29年度決算における純資産額は、591,285千円となっており、直近3年間における純資産も増加傾向で推移するとともに、平成31年度以降においては、市内7区の社会福祉協議会を吸収合併し、財務体質はより強くなり安定した財務運営が図られます。また、里山を考える会は、平成29年度実績で収入149,000千円、当期純利益は170千円となっており、正味財産は74,000千円と安定しています。</p>
<p>(3) 実績や経験など</p> <p>北九州市社協は、今回の管理運営対象施設である「年長者研修大学校周望学舎・穴生学舎」及び「北九州穴生ドーム」とともに、「北九州市立福祉会館・戸畑市民会館（ウェルとばた）」の管理運営をそれぞれ開設の当初から行なっています。また、里山を考える会は、平成26年度から指定管理者として生涯現役夢追塾の運営を行なっており、これまでに「山田緑地」及び「ほたる館」の管理運営の実績があります。また、現在では「北九州市環境ミュージアム」の指定管理業務を行なうなど、いずれも施設の管理運営に関し十分な実績と経験を有しています。</p>

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <p>これまでの管理運営で培ったノウハウを活用し、さらなるイノベーションを図ります。</p> <p>年長者研修大学校においては、市民センターと連携した動画講座や年長者の自助・互助の意識の醸成、また、就労を促進する講座の開設などにより、人生90年時代に対応した学びの提供とまちづくりの主役となるひとづくりに努めます。</p> <p>穴生ドームにおいては、健康づくりマニュアルの作成とその実践などによる高齢者を主体とした市民の健康づくり（健康寿命の延伸）や、多世代交流を目的としたニュースポーツの場の提供などを行ないます。</p> <p>生涯現役夢追塾においては、50歳以上の大人世代を、対話による学びの力で「誰一人取り残さない」地域の実現を目指します。また、夢追塾の学びの法則である「夢追いメソッド」(仮)を教材として、多様性のある人材を育成します。</p>

(2) 利用者の満足度

快適な施設、設備等の整備、職員研修の充実などにより、利用者が満足できる環境づくりに努めます。また、新規研修生への初期面談や研修生表彰制度の導入などにより、研修生の満足度の向上を図ります。さらに、利用者アンケートや意見箱の設置により、利用者の意見を的確に把握し、そのフィードバックを行います。

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理料及び収入

経費を低減するため、効果的な人員配置、業務の集約化、ボランティア・シルバー人材の活用により人件費を低減します。また、事業費についてはスケールメリットを活かした業務委託やボランティアの活用などにより削減に努めます。さらに、予防保全型の維持管理を行い、施設修繕費の削減を図ります。

収入を最大限確保するため、受講料収入については、受講生増加の取り組みを強め、収入の増加を図ります。短期講座やその他の自主事業については、実施に当たり収支の確認を強化し、収益の確保を図ります。また、穴生ドームについては、ドームフェスタ等のイベントやスポーツ教室の開催・充実によりドーム利用者の増加を図り、利用料金の確保に努めます。

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

施設の開設当初から管理運営を受託し、指定管理者として13年にわたり管理運営を行なっている実績を踏まえて策定する収支計画は、施設の設置目的の達成と経費面での効率性を両立し、実現可能性の高い計画となっています。また、事業体内に設置する管理課により、3施設及び生涯現役夢追塾に係る予算の執行を一元的に管理し、厳格かつ適正に実施することができます。

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

総括責任者として所長を配置し、各施設及び生涯現役夢追塾事業にそれぞれ事業管理責任者を配置します。また、各施設の有機的な管理運営と効率性に主眼を置いた人員配置を行ないます。

職員研修を充実させ、職員の資質向上に努めます。また、研修生による地域清掃や通学路の交通安全指導、教育機関や社会福祉施設等と連携した講座の実施などにより、地域や関係団体等との連携と協働を図ります。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

個人情報については、セキュリティ対策を講じたクラウドの利用などにより、効率的で安全性の高いデータ管理を行なうとともに、職員研修や研修生への啓発を行ない、情報の保護に努めます。また、研修の受講や施設利用、イベント等への参加について、利用者が平等に利用できるよう配慮します。安全対策については、施設の点検や修繕等により安全な施設管理を行うとともに、自衛消防隊の結成や避難誘導訓練の実施などにより、危機管理に努めます。

提案額（千円）

31年度	184,000千円
32年度	184,000千円
33年度	184,000千円
34年度	184,000千円
35年度	184,000千円